

東白の松風

公立学校退職校長会東白川支部
発行責任者 下重康仁
◆創刊 平成2年8月1日

令和4年度総会 3年ぶりに開催

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度、令和3年度の総会は、紙面決議で行われましたが、今年度は新富家を会場に、28名の参加のもとに行われました。

今年度は役員改選の年度であり、下重康仁新支部長のもと新たなスタッフで活動がスタートしました。(新役員については後掲)

総会の後には、各クラブの打ち合わせを行い、組織づくりと今年度の活動を確認しました。

昼食会は行わず、弁当の持ち帰りでしたが、久々に顔を合わせる会員同士で近況報告をするなど、会場内で和やかに会話をする様子が見られました。



「支部長挨拶」

支部長 下重 康仁

令和4年度を迎え、東白川支部会員の皆様には、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

4月16日に開催されました「東白川支部総会」には、コロナ禍にもかかわらず、28名の会員の方がご参集くださいましたこと、誠にありがとうございました。

3年ぶりに、会員の皆様方のお元気そうなお顔を拝見できるとともに、挨拶がてら近況報告など話が弾み、たいへんうれしくなりました。

さて、この総会にて支部長に選出された下重康仁です。副会長、監事、幹事、各方部の評議員と協力し合いながら、会員の皆様の親睦、生活の向上を図るとともに、連絡・連携を密にして、東白川の学校、こども園などの教育向上発展に寄与していきたいと思っております。



新型コロナウイルスが1日でも早く終息し、令和4年度に計画された事業が、実現できるようにと願っております。私たち役員は、できるだけことはやりたいと思っております。会員の皆様にお役に立ちますよう努めてまいります。

最後になりますが、何よりも会員の皆様のご健康を祈念して、挨拶といたします。



<お知らせ>

5月に計画されておりました「現職校長との懇談会」は、現職校長会と協議の上、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度も中止することになりましたのでお知らせいたします。

～～～<新入会員紹介>～～～

「どうぞよろしく願いいたします」 根本 秀一



退職して1か月。朝の検温の義務から解放され、不織布マスクの出番が減り、コロナの拡大や台風の発生や災害の報道に心がざわつく度に、もう必要ないのだと確認する1か月でもありました。現在は、自家用車に手を加えたり、物置の整理に時間を費やし、書籍の始末など身の断捨離にはまだたどり着くことができずにいます。これまで晩酌の理由にしてきたランニングは、腰痛の悪化とともに見合わせる事となり、今後どう健康で過ごすか、大きな課題となっています。

また、先日の支部総会では、かねて大変お世話になった先輩の先生方と久しぶりにお会いすることができました。小学一年の担任だった星仁子先生とも言葉を交わすことができ、「温かい東白」をあらためて感じました。園芸と東南の二つのクラブに加入できたのも、温かいお誘いの言葉があったからこそでした。

コロナ禍で、営業制限を受けた店主たちが原点を見つめて導き出した生業の意味は、「人の役に立つこと。相手に喜んでもらうこと。」でした。自分自身も、本支部の「学校支援ボランティア」を通して、子どもたちの役に立って喜んでもらえればと思っています。

入会させていただき、大変感謝しております。先輩方の生き方を学び、いただいた時間を有意義に使っていききたいと思います。これから、どうぞよろしく願いいたします。



<お帰りなさい>

「東白の校長として」 埴町立埴中学校長 菊池 淳一



このたびは、退職校長会東白川支部様の広報「東白の松風」に私のようなものの愚稿を載せていただけますこと、感謝申し上げます。

私事ではありますが、この春の人事異動によりまして、埴中学校に着任いたしました。学校現場での勤務は5年ぶりとなります。また、採用試験合格前は、鮫川中学校と山岡小学校に1年ずつ勤務させていただいたのですが、合格後は、なかなか東白川郡での勤務が叶わず、今回が初めての勤務となります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、現在の中学校の子どもたちは、昔とは変わり、やんちゃな子（いわゆるツッパリ系）は姿を消し、見た目も内面も、おとなしく優しい子たちばかりです。ただ、多感な時期は、昔も今もあります。「表側の良さ」に安心することなく、子どもたちの「内側」に寄り添うことができる教師集団づくりに励んで参りたいと思っています。また、子どもたちの数と学級数も減りました。一人一人に目が届き、きめ細かな指導ができる一方で、目が届くあまり、手をかけすぎてしまうという問題も生じます。「かわいい子には旅を・・・。」という言葉どおり、子どもたちにはあえて「苦労させる」ことも大事だと思います。

そんなことを思いながら、学校経営にあたっています。退職校長会の皆様には、是非厳しいご指導とご鞭撻を今後ともいただけますようお願い申し上げます、愚稿終了とさせていただきます。

江原靖男先生が賀寿を、星輝明先生と鈴木正美先生が賀詞を受けられました。誠におめでとうございます。賀寿、賀詞を伝達後、記念撮影を行い、思い出を語っていただきました。

祝賀寿 <江原 靖男先生> 95歳 昭和2年4月24日生

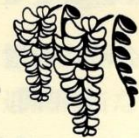
事前に自宅までの案内図を準備するなど、この日を楽しみにしていたとのこと。奥様が世話をしているという庭の花々が見渡せる部屋に案内され、下重支部長より賀寿の伝達が行われました。

先生は血色も良く、とても95歳とは思えないかくしゃくとした面持ちで私たちを迎えてくださいました。現在は週1回マッサージに行く程度で、その時間がとても楽しみであることを嬉しそうに話してくださいました。



先生は、昭和22年4月、鮫川村の青年学校と新制中学の兼務から教員生活が始まり、その後主に郡内の小学校に勤務されました。校長2年目の笹原小学校では、PTAの協力で児童の体力づくりのため、電柱や古タイヤ等廃材を利用したサーキットコースを作り、当時は地域の注目を集めるとともに、大きな成果を得たそうです。また、アコーディオン演奏が堪能だった頃には、音楽の先生とよく間違われていたことを懐かしそうに話されました。矢祭中学校を最後に退職後は、棚倉町の教育委員会や公民館に勤務され、公民館長の時には文部大臣表彰を受け、天皇陛下に拝謁した時の緊張感は今でも忘れられないとのことでした。その他、教頭時の中央研修でのエピソードや棚倉小学校体育主任時の城跡での運動会など、教員生活での様々な思い出をはきはきとした口調で話してくださいました。

これからも花を愛する奥様とともに、お元気でお過ごしいただきたいと思います。



祝賀詞 <星 輝明先生> 88歳 昭和9年3月18日生

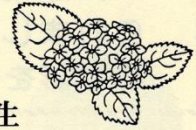
先生は、高野小学校を振り出しに、教諭として21年間勤務されました。その後教頭として那倉小学校、東館小学校を経験され、矢祭町の社会教育主事を4年間勤められました。校長としていわき市の田人第一小学校に勤務され、石井小学校長を最後に11年の長きにわたり校長としてご活躍後、ご退職されました。ご退職後は、矢祭町職員として公民館に勤務なされ、オーストラリアに2回海外派遣をされた後、公民館長として1年間勤められました。塙町では、地元老人会の会長を長く勤められ、県知事から感謝状を受賞されました。



教職44年を数え、教員として様々な分野でご活躍されました。特に最後の勤務校となった石井小学校では、旧農林省の補助を受け、こんにゃくの栽培を5年生児童とともに行い、研究発表をするなど、勤労体験学習に尽力されました。

健康の秘訣は、広い庭の管理と二反部もある畑の管理を奥様とともに行い、農作業に精を出していることで、作業の後は、毎晩の晩酌が待っているとのことでした。適度の酒を飲み、健康を保っているとのことでした。

ご夫婦で退職校長会の園芸クラブに所属し、健康のため互いに支え合うなど、夫婦円満に過ごされ、元気いっぱいの人生を楽しんでいることをうかがうことができました。



祝 賀 詞 <鈴木 正美先生> 88歳 昭和9年4月15日生

棚倉城址の桜の花びらが路面を彩る花曇りの中、私たちの訪問をご夫妻で出迎えてくださいました。

先生は、腰の状態が思わしくないため、山野草クラブや里山歩きができないことを残念がっておられました。それでも治療にはご自分で運転して出かけるとのことで、最近運転免許更新に無事合格されたことを笑顔で話されていました。



先生は、大学卒業後、鮫川中学校を振り出しに教職生活をスタートさせました。中でも南会津教育事務所に勤務されたときは、交通事情が悪く、移動に大変苦労されたようです。広い南会津地区の学校訪問は泊りがけで行ったことや、雪の多い時期は除雪車が事務所まで迎えに来てくれたことなどを懐かしそうにお話してくださいました。最後に勤務した棚倉中学校では、オーストラリアとの交流や生徒指導では、若手教員に恵まれたこと、合唱コンクールで文部大臣表彰を受けたことなど、38年間の教職生活を振り返ってくださいました。退職後は、シルバー人材センター事務局長や人権擁護委員を務め、人との交流が元気の源になったことを話されていました。先生の数多くのエピソードに引き込まれ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

当日は、私たちの前に棚倉町長さんの米寿の祝意訪問もあり、慌ただしい中対応して下さった先生ご夫妻には感謝申し上げます。いつまでもお元気でお過ごしいただきたいと思います。

総会時に改選された新役員は下記のとおりです。

2年間、よろしく願いいたします。

【令和4年～5年度役員】



役 職 名	氏 名
顧 問	渡邊 勇喜 ・ 萩原 照夫
支 部 長	下重 康仁
副支部長	古張 金一 ・ 藤田 充
監 事	秋山喜久男 ・ 山本 純
評 議 員	棚 倉 中島 一枝 ・ 面川 春男
	鮫 川 佐藤 勝久 ・ 矢吹 政徳
	埴 大越 憲峰 ・ 古張 金一
監 事	矢 祭 佐川 幸信
	庶 務 佐川 幸信
事	会 計 大越 憲峰
	広 報 西牧 武美 ・ 吉田 信也
	ボランティア 矢吹 政徳 ・ 郷田 均
県評議員	下重 康仁 ・ 佐川 幸信

[編 集 後 記]

新型コロナウイルスの影響で、なかなか顔を合わせることができない状況の中で、総会を対面で行うことができ、その記事を書けることができたことはとてもうれしい限りです。

お忙しい中、今回の広報に原稿をお寄せいただきました皆様、大変ありがとうございました。

活動が制限されている中で記事の内容も限られますが、充実した広報誌となるように努めてまいりたいと思いますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(西牧・吉田)